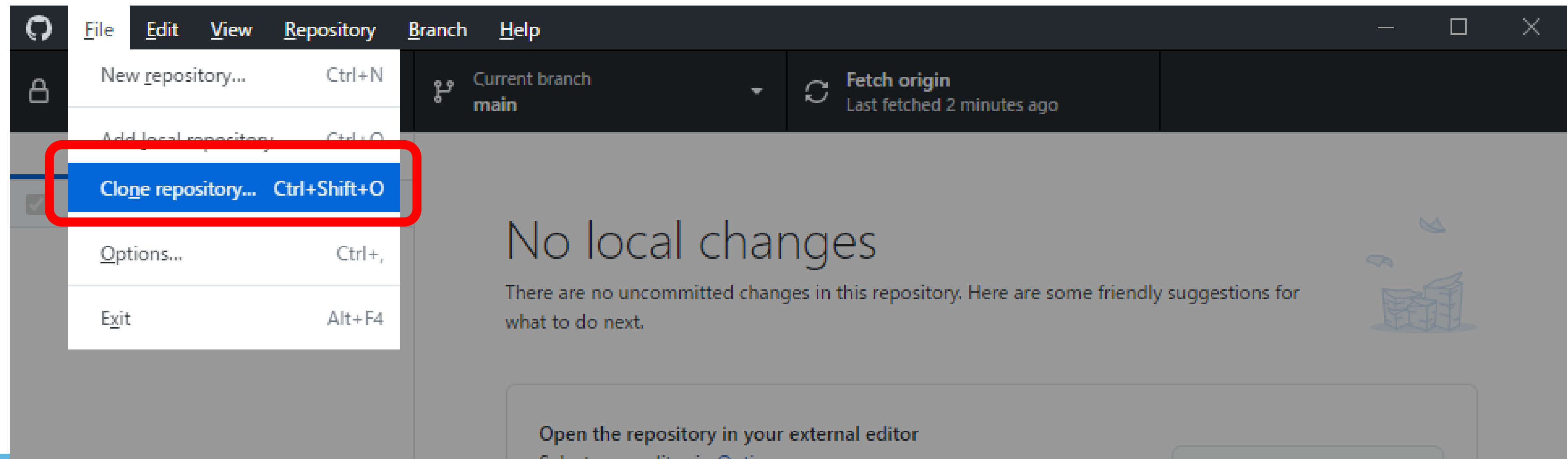
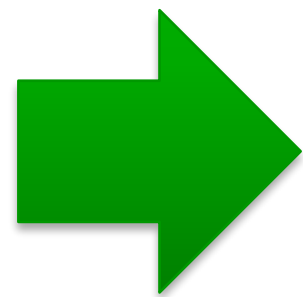


GitHub Desktop による レポジトリのクローンと 初期設定 [PMのみ]

この手順もすべてPMのみ実施します

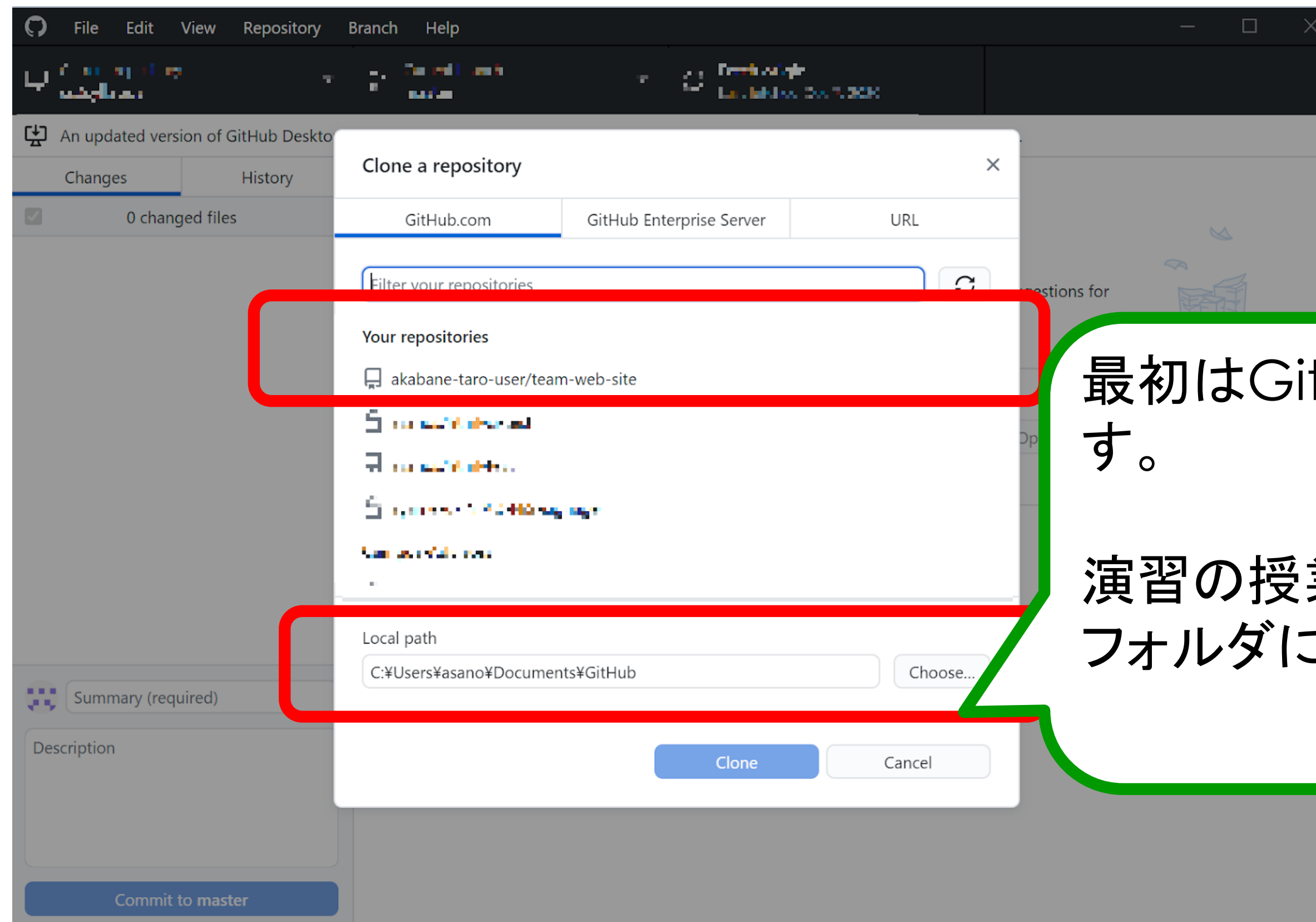
GitHub Desktop でリポジトリからクローン [PMのみ]

- ここからの手順では、Djangoのプロジェクトを作成します
- 自分のコンピュータにインストールしてある GitHub Desktop を開き、File > Clone repository ... メニューを開きましょう



リポジトリからクローン

- 第9回で作成したリポジトリを選んで、Clone をクリックしましょう
 - もしこの画面に Sign in と表示されている場合は、MOOCsの次のページを参考にしてください
 - 保存先を変えたい場合は、「Local path」欄を書き換えて好きなフォルダ（例えば演習の課題を保存しているフォルダ等）にしてからCloneをクリックしてください

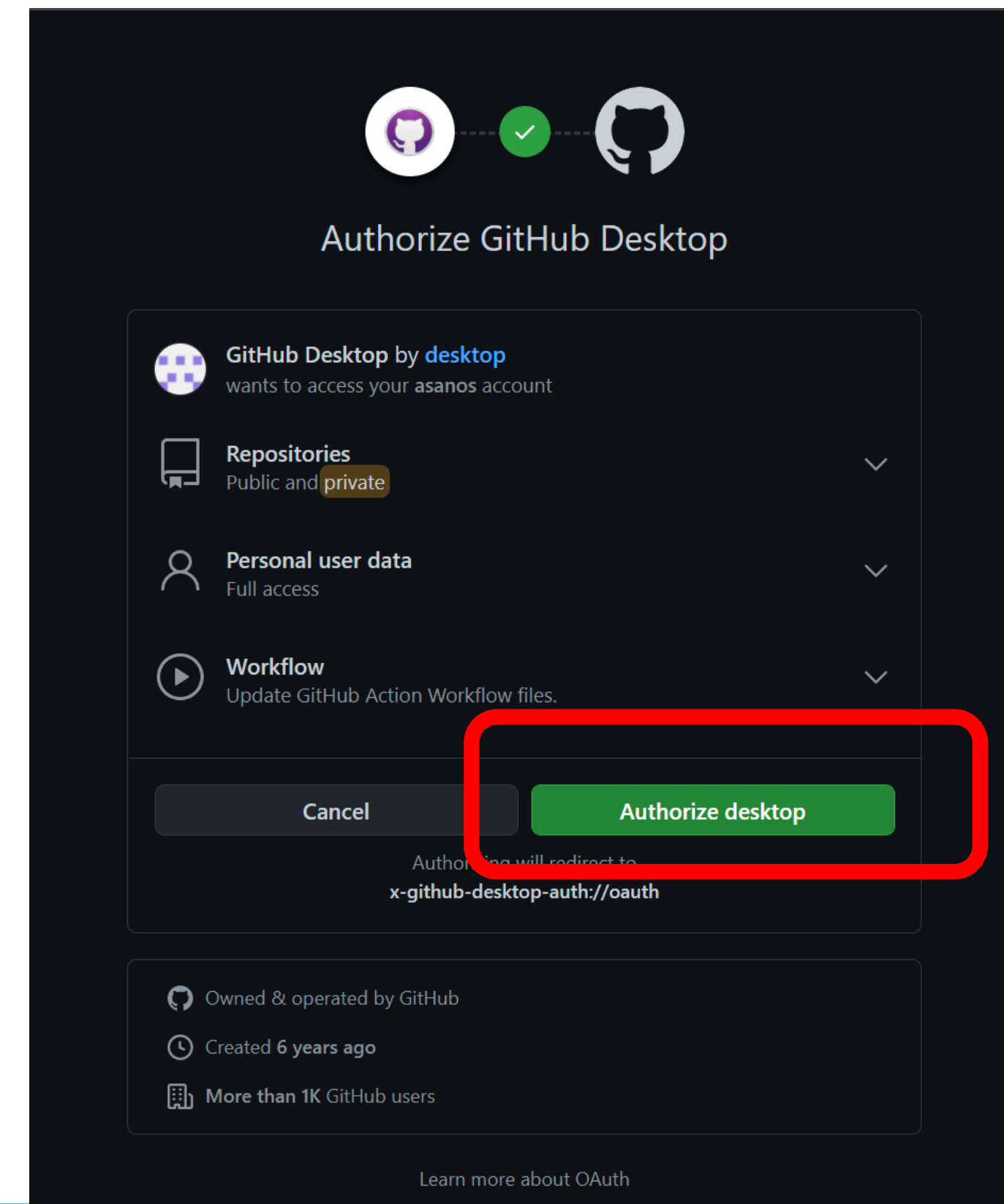
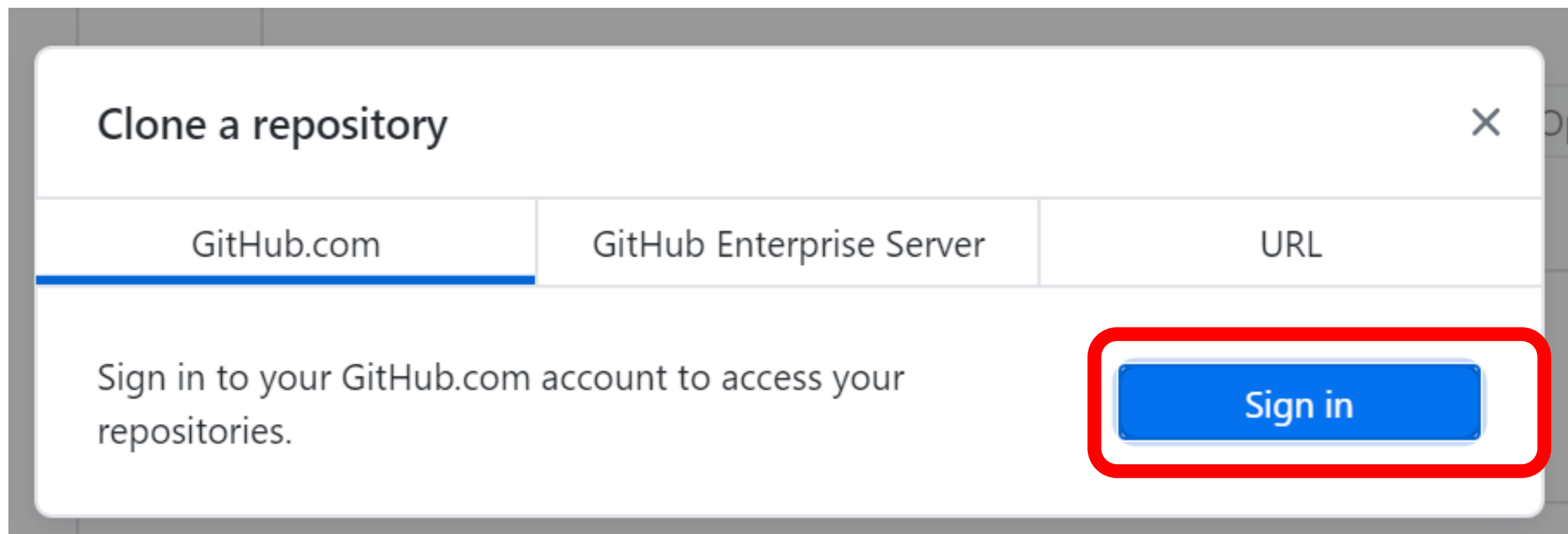


最初はGitHubフォルダになっています。

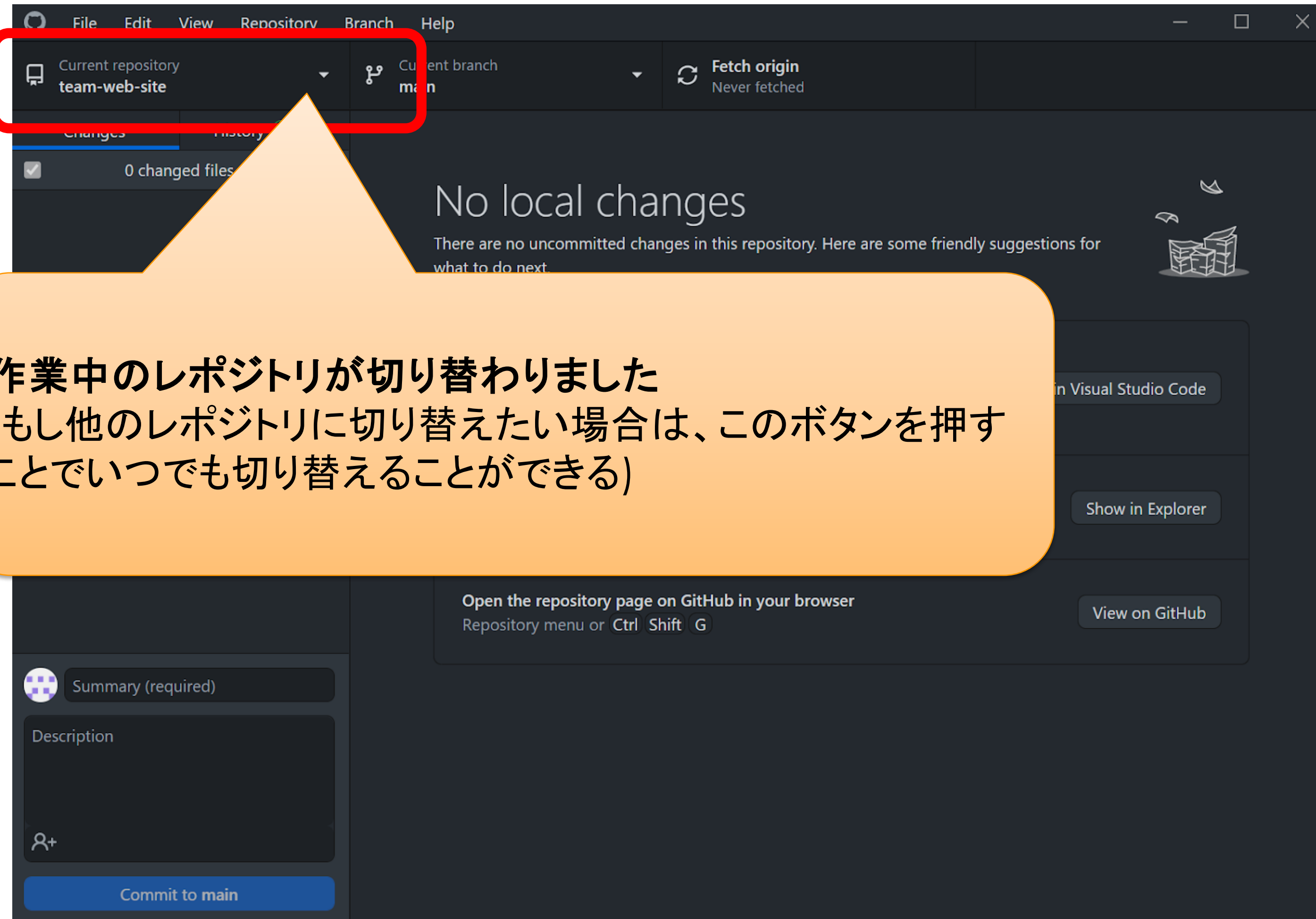
演習の授業で作った cs_exercise フォルダにすることをおすすめします。

参考: もしリポジトリ一覧が出てこない場合

- Clone a repository を選んで以下の画面になる場合は、「Sign in」を押してGitHub.comへログインしてください
 - ログイン方法は CS1のMOOCs 9-1, GitHub Desktopのインストールに記載されているとおりです

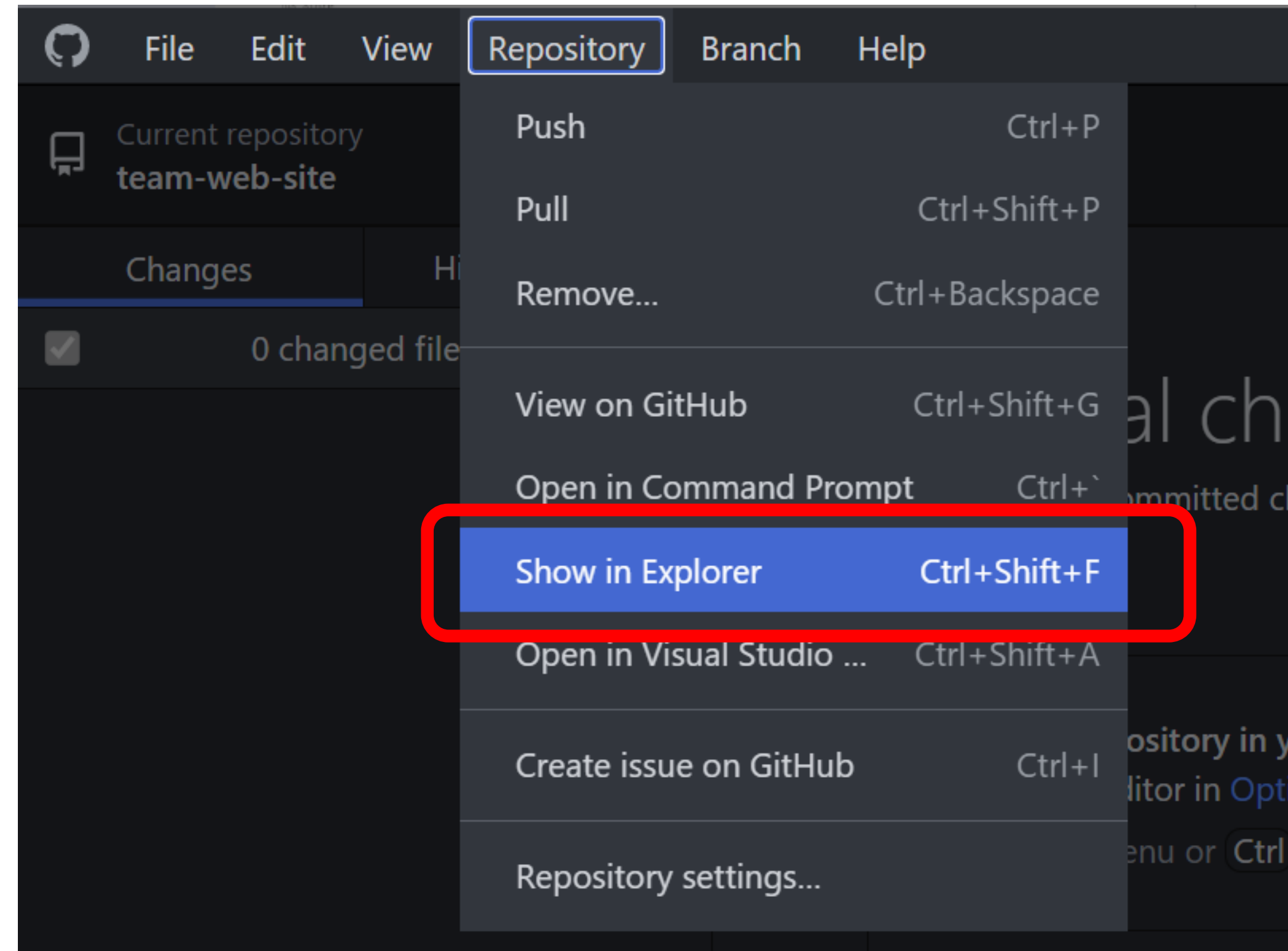


この画面までたどり着ければClone成功です



作業中のレポジトリが切り替わりました
(もし他のレポジトリに切り替えたい場合は、このボタンを押す
ことでいつでも切り替えることができる)

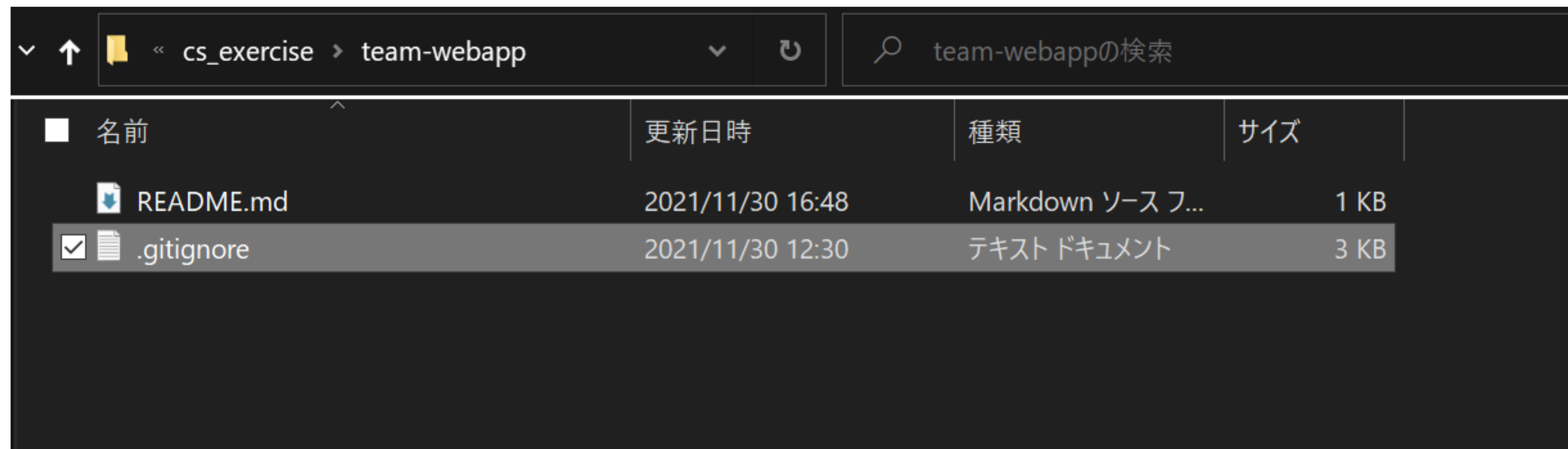
エクスプローラーでcloneしたフォルダを開きます



GitHub Desktop のメニューから Repository -> Show in Explorer を選ぶと、エクスプローラーで、cloneしたフォルダが表示されます。

Google Driveからダウンロードしたファイルを置きます。

- MOOCsの下記のURLからダウンロードした .gitignore ファイルを、先ほどエクスプローラーで開いたフォルダに置きます
 - README.md と同じフォルダに置きます
- ダウンロード時にはファイル名の先頭の「.」が消えるため、ファイル名の先頭に「.」を必ずつけてください

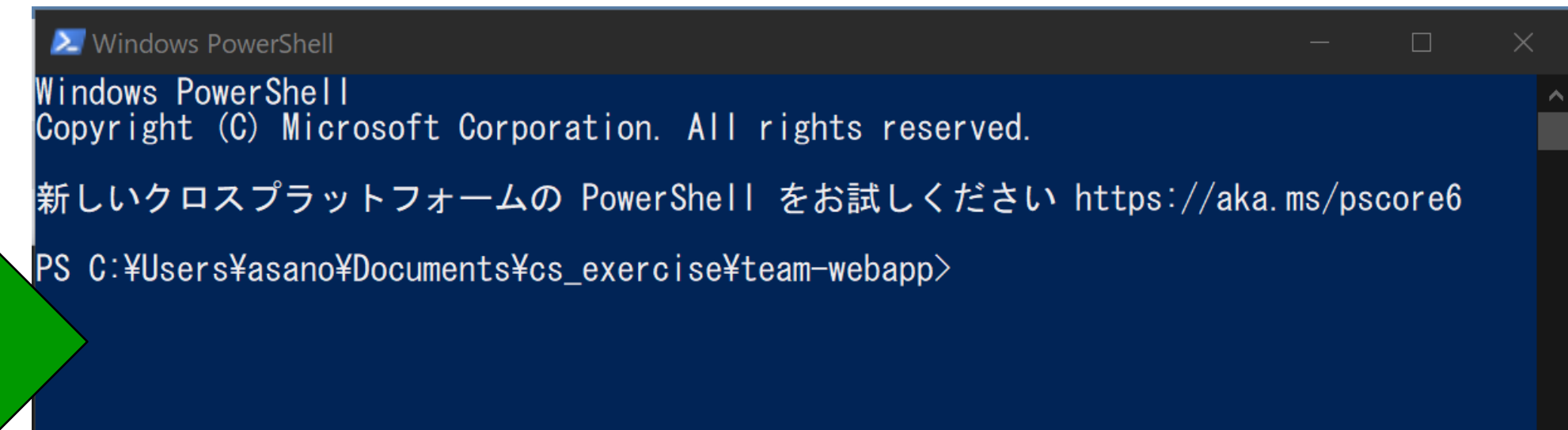
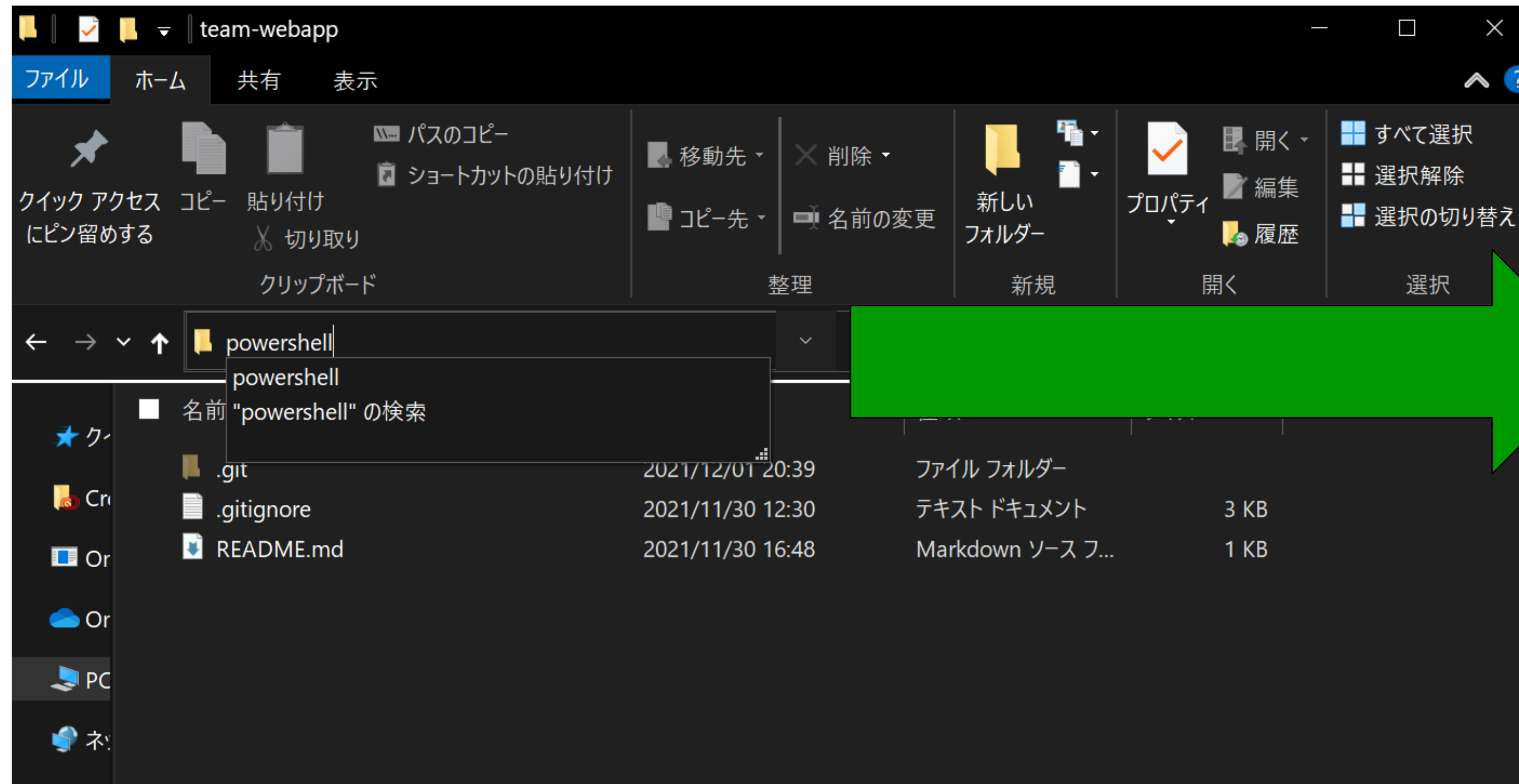


名前	更新日時	種類	サイズ
README.md	2021/11/30 16:48	Markdown ソース フ...	1 KB
<input checked="" type="checkbox"/> .gitignore	2021/11/30 12:30	テキスト ドキュメント	3 KB

<https://moocs-files.iniad.org/2021/cs2/.gitignore>

PowerShell を開いてDjangoのプロジェクト・アプリケーションを作る[PMのみ]

- 先ほどのエクスプローラーで開いたフォルダを、PowerShellで開きます
 - エクスプローラーのアドレスバーに powershell と入力してキーボードのEnterキーを押すことで、PowerShellが開きます (mac の場合は 09-e の手順を参考に、このフォルダに cd コマンドで移動してください)
 - 09-e の手順を参考に、このフォルダ内で仮想環境を作成して有効化してください



09-e を参考にdjangoの設定をする

1. 仮想環境を作成し、有効になっていることを確認してから、09-eを参考にしてdjangoをインストールします
 - `pip install django`
2. Djangoプロジェクトを作成してください
 - `django-admin startproject config ./`
3. `config/settings.py` のLANGUAGE_CODE と TIME_ZONEを修正します
4. 任意の名前(好きな名前)でDjangoアプリを追加してください
 - `python manage.py startapp teamapp`
(teamapp は好きな名前にしてください)
 - `config/settings.py` のINSTALLED_APPSにもアプリ名を追記しましょう

サーバーが動作することを確認[PMのみ]

- DjangoのサーバーをPowerShellで起動します
 - `python manage.py runserver`
- ブラウザでサーバーにアクセスし、想定通りの動作をしていることを確認します
 - <http://127.0.0.1:8000/> にブラウザでアクセス
- うまくいかない場合は教員に相談しましょう

コミット & GitHubへのプッシュ

- ここまで完了し、GitHub Desktopを確認すると、このように様々なファイルが追加されていることを確認します
 - 14個程度のファイル数となるはずですが、ファイル数が100個を超える場合は手順に誤りがあるので、コミットする前に教員に相談してください
- Summary とDescriptionに作業の概要を記載して「Commit to main」ボタンを押します
- コミット完了後、「Publish repository」をクリックします
 - これまでの作業内容がGitHubに反映されたことを、GitHubのページにアクセスして確認してください

